

## 資料 今後の検討の進め方についての提案

クリーンセンターの建て替えは、ごみを出す全ての市民にとっての議論となるべきと考え、9月にフォーラムを行った。その後、「広報計画小委員会」を設置し、様々な取り組みを行った。

## 出席者人数

## フォーラム「新しいクリーンセンターの建設に向けて」【資料編 P.175】

9月7日	フォーラム	120人
------	-------	------

## コミセン勉強会【資料編 P.178～P.191】

12月16日	西久保コミュニティセンター	13人
1月15日	吉祥寺北コミュニティセンター	22人
2月12日	境南コミュニティセンター	21人
3月12日	吉祥寺南町コミュニティセンター	7人
4月21日	けやきコミュニティセンター	24人
4月23日	緑町コミュニティセンター	20人
4月27日	緑町パークタウン集会所	9人
5月21日	西部コミュニティセンター	2人
6月5日	本宿コミュニティセンター	12人
<b>合計</b>		<b>130人</b>

## 施設見学会

3月14日	クリーンセンター施設見学会	11人
-------	---------------	-----

## 環境美化推進委員

5月14日	研修会（テーマ：建て替えについて）	58人
-------	-------------------	-----

## 「クリーンむさしのを推進する会」地域集会

5月16日	八幡町コミュニティセンター	20人
5月28日	桜堤コミュニティセンター	35人
5月30日	けやきコミュニティセンター	30人
6月1日	都営住宅集会所	40人
6月3日	吉祥寺南町コミュニティセンター	25人
6月5日	吉祥寺西コミュニティセンター	49人
	西久保コミュニティセンター	20人
6月6日	関前コミュニティセンター	50人
	境南コミュニティセンター	50人
6月7日	中央コミュニティセンター	25人
6月15日	西部コミュニティセンター	21人
6月20日	本宿コミュニティセンター	19人
<b>合計</b>		<b>384人</b>

平日に見学に来られない、一人では来づらいという方のために土曜日の見学会を実施

「クリーンむさしのを推進する会」の地域集会（同会の昨年度の実績と今年度の予定を報告する会）で、クリーンセンターの建て替えについて、当委員会で検討されている内容を中心に説明

**総計 703人**

## 1. フォーラム懇親会

「新しいクリーンセンターの建設に向けて～クリーンセンターのこれまで、そしてこれからについて考える～」

日時・場所 : 平成20年9月7日(日)

シンポジウム 12:30～16:50 市役所西棟8階 811会議室

オープンハウス 12:00～17:10 市役所西棟8階 812会議室

参加者 : 寄本委員長、田村副委員長、橋委員、金子委員、早川委員、越智委員、石黒委員、村井委員、佐々木委員、前川委員  
一般来場者 約120名

### 【基調講演】

「福を呼び込む環境力 温暖化対策と廃棄物問題-」と題し、「NPO法人 環境文明21」代表の加藤三郎先生より基調講演が行われた。温暖化の危機と廃棄物との関わりについて、分かりやすい説明があり、思わずうなずく来場者が多く見うけられた。



### 【最新ごみ焼却施設紹介】

各地の最新ごみ焼却施設についての紹介があった。現クリーンセンターの工場内部を、写真を織り交ぜて説明した後、武蔵野市と同様市街地に建設された焼却施設や、壁面・屋上緑化の例、有名建築家によるデザインの工場、地元住民とのワークショップによるデザインの工場などが紹介された。

### 【パネルディスカッション】

(仮称)新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会・寄本勝美委員長をコーディネーターに、パネリストとして同委員会の田村和寿副委員長、石黒愛子委員、そして、加藤三郎先生、邑上守正市長によるパネルディスカッションが行われた。「クリーンセンターのこれまで、そしてこれからについて考える」をテーマに、過去の経緯から新施設のあり方について、予定時間を大幅に延長しての活発な議論が行われ、会場は熱気に包まれた。



### 【オープンハウス】

812会議室でオープンハウス「現クリーンセンターの建設経緯と現状」を行い、パネル展やビデオ上映、資料コーナーなどを設置した。

## 2. 市報特集号

市の広報媒体として最も広く配布される市報（市内全戸配布）においては、平成21年1月に特集号の発行を行い、当委員会にて企画を行った。

**むさしの** NO.1837  
平成21年(2009)1月16日 発行●武蔵野市 編集/広報部 市役所 〒180-8777武蔵野市緑町2-2-28 代表電話 51-5131

**武蔵野クリーンセンター特集号** 企画/〔仮称〕武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会

### ごみはみんなの問題!

## クリーンセンターは寿命を迎えるため、建て替えが必要です

現クリーンセンター建設への歩みは、市民参加の大プロジェクトでした。そして今、昭和59年の稼働以来24年が経ち、未来に向けて建て替え計画の検討が始まりました。

# 一緒に考えよう クリーンセンターの建て替えを

毎日100トンのごみが進び込まれます

稼働開始から24年間24時間フル稼働!

武蔵野市には、どのようなごみ処理施設が必要でしょうか？

ごみをさらに減らすために何をしたらいいでしょうか？

新クリーンセンターの検討委員会がスタート

ごみが出せなくなったら大変だよ!

今から私も考えないと...

クリーンセンターに行ってみようか

### みなさんのご意見をお寄せください

●ご意見・お問い合わせは…  
武蔵野クリーンセンター 武蔵野市緑町3丁目1番5号  
☎54-1221 FAX:51-9194 E-mail:ont-clean@city.musashino.lg.jp

市民参加の〔仮称〕新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会は、情報も大切です！(内容は市報などでお知らせします)。

**なぜ  
建て替えが  
必要か**

◆**設備の老朽化**

- ・焼却炉とボイラーの寿命は約30年。
- ・これらの設備を交換するには、工場のほとんどの機械の交換が必要。

◆**ごみの内容の変化**

- ・建設した時より燃えやすいごみになったことで燃焼温度が高くなり、焼却炉とボイラーの能力の限界近くで使用しているため、現在のごみに対応した焼却設備が必要に。

平成27~30年までに  
**建て替えが  
必要**

昔のごみと、  
どう変わったの？



●**資源にできないプラスチックなどのごみが増えた**

昔は台所の生ごみがほとんどでしたが、生活スタイルの変化により資源にできないプラスチックなどのごみが増え、ごみの中の水分が減り、燃えやすくなりました。

なぜ今の建物で  
リフォーム  
しないの？



●**ごみ処理をしながら工事をするのは困難**

クリーンセンターは住宅地の中にある施設なので、音・振動・臭いが漏れないよう、しっかりした造りで設備を包むようにできています。そのような構造上、ごみ処理を続けながら全設備の入れ替え工事をするのはとても困難です。

周辺の市に頼んだら  
いいんじゃない？



●**建設までの経緯を踏まえ、自分たちのごみは自分たちの地域で処理することが大切**

約40年前、武蔵野市のごみは三鷹市内の焼却場で共同処理していました。しかし、騒音・悪臭・煙などの公害が問題になり、焼却場周辺の住民からごみの搬入を阻止され、武蔵野市内に焼却場を造らなければならなくなりました。必要だけでも近所にはほしくない施設として市民参加の大議論になり、その結果、現センター周辺住民の「善法を選択」により市役所の向かいに建設された経緯があります。ごみを自分たちの地域で処理することはとても大切なことなのです。

**みんなで  
考えよう**

安全であることはもちろん、これからのごみ処理施設には  
どのようなものが必要でしょうか？

ごみ処理施設って  
地球にやさしいの？



ほくの出した  
ごみはどこへ  
いくの？



誰でも立ち寄れる、  
オープンな施設は  
どうかな？



●**地球にやさしい施設とは**

地球温暖化が進む現在、その大きな原因である二酸化炭素(CO2)の発生を抑えなければなりません。ごみを燃やすとCO2が発生します。また燃やすために機械を動かすにも大きな電力が必要で、電力を生み出すにもCO2は発生します。このことから新しい施設では、ごみを燃やす過程での発電設備や、大気中のCO2を吸収する緑を屋上や壁面に配置することなどが検討されています。

●**ごみを減らすための情報発信も**

自分が出したごみがどこへ行くのか、ごみのゆくえを知ることは、とても大切です。焼却して出た灰は日の出町のエコセメント工場へ運ばれ、プラスチックなどの資源物は市の民間施設でリサイクルされます。武蔵野市だけでごみは処理できません。市民がごみ処理について理解することでごみを減らすよう、ごみ処理の情報を発信する場が検討されています。

**さあ、  
行ってみよう**

**クリーンセンターや環境問題の  
ここが知りたい！  
おすすめ情報**

●**エコロジーを楽しく知りたい**

●**運営協議会フェスティバル**

2月22日(日)正午～午後3時30分。クリーンセンター。施設について楽しく知る催しです。施設見学、フルートとギターのコンサートなどを予定。詳細はお問い合わせください。

●**環境フェスタ**

3月21日(土)午前10時～午後4時。スイングスカイルーム・レインボーサロン。地球温暖化問題について考える催しです。展示「環境にやさしいクリーンセンター」も出展予定。◎環境政策課2560-1841

●**家で、クリーンセンターや武蔵野市のごみについて知りたい**

●**ホームページのご案内**

武蔵野市公式ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.musashino.lg.jp/index.html>  
「暮らしのガイド」▶「ごみと環境」

●**クリーンセンターについて知りたい**

●**センターを見学しませんか**

焼却炉など工場内を実際に見てみませんか。見学申し込みは随時受け付けています。希望者は事前に電話でお申し込みください。

●**オープンハウスができました**

クリーンセンター3階。センターの歴史と現状についてのパネル展示、さまざまな資料などを閲覧できます。気軽にお立ち寄りください。



クリーンセンター3階のオープンハウス



第1回コミセン勉強会の様子

●**クリーンセンターの建て替えについて、詳しく知りたい**

●**コミセン勉強会に参加しよう！**

センターの建て替えは、ごみを出す全市民の関心事です。市内各所のコミュニティセンターで順次勉強会を開催しています。第1回勉強会は、昨年12月16日に西久保コミセンで開催されました。

★**コミセン勉強会開催日程**

- <第2回>吉祥寺北コミュニティセンター  
1月15日(木) 午後1時30分～3時
- <第3回>境南コミュニティセンター  
2月12日(木) 午後2時30分～4時
- <第4回>吉祥寺南町コミュニティセンター  
3月12日(木) 午後2時～3時30分

★環境フェスタ以外の申し込み・問い合わせは、武蔵野クリーンセンター 254-1221まで。

### 3. クリーンセンター建て替えコミセン勉強会

市内各所のコミュニティセンターで勉強会を開催した。

第1回から第4回までは、全市的な関心を喚起するという目的で現クリーンセンターから比較的離れた地域において、クリーンセンターの基本的な役割や建設の経過を話した後、建て替えの必要性や地球温暖化問題とごみ処理の関わりなどをテーマに話した後、意見交換を行った。第5回から第7回は、(仮称)新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会において、「中間のまとめ」が作成されたことをから、現クリーンセンター周辺地域においてその内容を中心に勉強会を実施し、そこで交わされた意見をパブリックコメントとして委員会に反映させるという形で勉強会を行った。第8回も中間のまとめの内容を中心として勉強会を行い、第9回のコミセン勉強会では、委員会が最終報告書の作成に向けて議論を進めていたことを受けて、その内容を中心に勉強会を実施した。

#### 【第1回・西久保コミュニティセンター】

日時：平成20年12月16日(火)14:30~16:00

参加者：一般 13名

委員 4名

(橋委員・金子委員・広江委員・早川委員)

#### (質問・意見)

- 中小規模の事業者ごみをどのように減らすかがカギと思われる
- 新クリーンセンターは、誰もが楽しく学べ、くつろげるものにしてほしい。足湯・環境学習など
- コミセンで勉強会を行うだけでなく、老人会・PTA・テンミリオンなど、地域での30~50人規模の会合にどんどん出前に行き、コンパクトに30分程度話させてもらうことを働きかけてはどうか
- 一般市民がもっと勉強会に出るよう、工夫が必要と思う。少人数でも、多数回開催していただく事が必要でしょう



## 【第2回・吉祥寺北コミュニティセンター】

日時：平成21年1月15日(木) 13:30～15:00

参加者：一般 22名

委員 5名

(田村副委員長・橘委員・広江委員・石黒委員・早川委員)



### 【質問・意見】

#### ■ 建て替えではなくリフォームできないのかどうか

委員会で研究・議論をしているが、設備の入れ替えは実質的にできない事が分かりつつある。新施設においては、ライフサイクルコストの概念を採用し、建物を出来る限り長く利用できる形で建設することも、委員会において検討中である

#### ■ 脱焼却の可能性

コスト面や、武蔵野市でできるかどうか、検証が必要である。モデルケース的に一部で行う、これまでに市内で行われた試みについて研究するなど必要と考える。しかし、脱焼却の処理を行うにしても、実験段階の新技术を除けば安全で安定的に全ての種類のごみを処理できる処理方法はない。したがって、いずれにしても焼却処理施設は必要となる。

#### ■ 広域処理の可能性

収集業務の効率性から考えると連携する対象は周辺各市に限られるが、現状として組める相手がない。多摩地域における焼却場は、どこも市境にある工業地域や川沿いなどであるが、武蔵野市にはそういった土地がないため、難しいと考えている

#### ■ 生ごみの分別・資源化についての検討はしっかりおこなっているのか

生ごみの資源化には、かなり厳密な分別が求められる。また、食べ残しの残渣は塩分が多く堆肥にはあまり適ではない。移動人口や若い単身者層が多く、都市型の市である武蔵野市においては、全戸対象として良質の生ごみを得ることは難しいと考えている

### 【第3回・境南コミュニティセンター】

日時：平成21年2月12日(木) 14:30～16:00

参加者：一般 21名

委員 4名

(橋委員・広江委員・石黒委員・早川委員)



#### 【質問・意見】

##### ■ 廃プラの焼却による問題はないか？

運営協議会・周辺住民のチェックの元、試験焼却を重ねた上で廃プラの焼却を開始した。各地域で土を採取しダイオキシン濃度などの検査を行っているが、人体に問題が出る量からははるかに小さい値となっている。建設当時、運営協議会の方々と共に当時の水準で最も厳しい排出基準として、当時の最新設備を導入した。その後、各地でダイオキシンの問題が出てきた時に、バグフィルターを設置した。現状では、最新鋭の施設とほとんど変わらない設備で排出するガスの洗浄・ろ過を行っている。

##### ■ チャレンジ700gが達成できたらどうなるのか？

ごみ有料化前の平成16年度の焼却ごみ量は40,533t。有料化後の平成17年度は37,701tで、一人当たりの排出ごみ量は761g。平成19年度の焼却ごみ量は36,377tで、一人当たりの排出ごみ量は一日729gとなっており、確実に減っている。平成20年3月に作成された「武蔵野市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」によると、ごみ減量の更なる推進により、平成29年度には一人当たりの排出ごみ量を680gにするとしており、その量を基準に新施設の建設計画を推進することになっている。つまり、チャレンジ700gを達成し、さらに680g以下にしなければ、新しいクリーンセンターの処理能力を超えてしまうことになり、達成することを前提としている。

##### ■ 新しい施設も、30年経過した時点で建て替えることになるのか？

委員会で研究・議論をしているが、現在の施設については設備の入れ替え等による更新工事が実質的にできない事が分かりつつある。しかし新施設においては、ライフサイクルコストの概念を採用し、建物を出来る限り長く利用できる形で建設することも、委員会において検討中である

##### ■ ごみを減らすことについて、一般市民にPRがほとんどなされていない。市として掲示板などを作るべきである

「クリーンむさしのを推進する会」が市とともに「朝一番隊」として日曜日の朝に拡声器を使って市内でPRをしている。また「ごみ減量協議会」にて、ごみの減量を実際に推進していく術を検討中である。掲示板については、ごみ総合対策課とともに検討をしたい。

##### ■ 是非とも、ごみ発電は行っていただきたい。

国の方針として、新しいごみ焼却施設には発電施設を設置するようとなっており、地球環境を守るためにも発電は行うべきであると考えている。

#### 【第4回・吉祥寺南町コミュニティセンター】

日時：平成21年3月12日(木)

14:00～16:00

参加者：一般 7名

委員 3名(橘委員・広江委員・石黒委員)



#### 【質問・意見】

##### ■ 武蔵野市は三鷹市よりごみ処理にコストがかかっている。

三鷹市の収集は全て委託であるが、参考にしてしているそのデータには委託費が入っておらず、武蔵野市のデータには直営収集の人員費が反映されている。同じベースのデータでないと比較できない。

##### ■ 三鷹市では10年以上前から建て替えについて検討をしている。武蔵野市もあと10年延命して、その間に検討を深めたり、技術の革新を待ったりしてみてもどうか。

三鷹市は、二枚橋を継続利用できないと小金井市に言われていたため、調布市との連携をするために早くから検討を進めていた。

平成17年の調査報告書によると、ボイラーにはピンホールがあり、応急処置として鉄のパッチによる対応をしている。周辺に住む住民として、爆発事故は起こって欲しくない。

##### ■ もっと技術的な説明を伴う勉強会を行って欲しい。委員は情報を周囲に伝えて欲しい。

今回の勉強会までが、クリーンセンターの建て替えについて検討が行われていると言う基礎的な勉強会というコンセプトで行っており、次回以降は「中間のまとめ」の内容に基づく、踏み込んだ形の勉強会を行っていく予定である。情報の公開については試行錯誤しているところである。

委員はそれぞれが周囲に報告をしているし、イベントなど機会があるごとに説明をしている。今度「クリーンむさしの推進する会」で生ごみ資源化施設の見学を行うが、その社車中でも行う予定である。

##### ■ バグフィルターやストーカ炉が一番良いとは思えない。現在の物をそのまま更新するのではなく、果敢に、色々研究して欲しい。

様々な技術について、委員会として研究を行い精査しているが、なかなか情報が伝わらないところである。

##### ■ 市が市民に生ごみ減量を訴えるべき。

生ごみについては、市全体で分別を徹底することが難しい。登録制の回収で、生ごみ処理機能を搭載の収集車の導入など、何らかの形で対応をしたい。

##### ■ 剪定枝の水曜日の資源化回収について、市民に伝わっていない。

##### ■ 議論は科学的に行うべきである。

##### ■ 日の出町の事も考えて議論を進めて欲しい。

##### ■ 私達の出すごみが、どんなに考えて出さなければならず、また、クリーンセンターの寿命、新設備を作る金額、近くに住む人達の心配(地震・事故)などなどのこと、大変な問題が身近にあることが理解でき、また驚いた。市民の意識をもっと広げ、クリーンセンターの建設の件の関心を広めることが大切だと思った。生ごみ処理での減量も大切だと思った。

##### ■ 検討状況の現段階が判って良かった

### 【第5回・けやきコミュニティセンター】

日時：平成21年4月21日(火)

19:00～21:20

参加者：一般 24名

委員 7名

(田村副委員長・橘委員・広江委員・

早川委員・越智委員・石黒委員・村井委員)



#### 【質問・意見】

- この地域は、「生みの苦しみ」を経験している。まず知りたいのは、ここに造るのかどうか。「まちづくり」などは後に来る。現敷地内で建て替えるならともかく、そうでないなら一年弱の委員会で検討できる内容ではない。吉祥寺南町や境でコミセン勉強会をやっているのは評価するが、地元地域に先にしっかり説明をするべき。
- 議論の進め方について。周辺に住む者としては、まず「整備用地」が大事。こういう土地があるから、こういう物を造れるというのがベース。13,000㎡の土地が、武蔵野市のどこにあるのか。

「整備用地」について、過去に苦労をしたことは知っている。しかし、武蔵野市のごみをどう処理していくのかがあり、そのためにどういう施設を造るのが必要。象を飼うのか鳥を飼うのかが分からずに場所は考えられない。今、クリーンセンターがこの地にあるがために様々な苦労があったが、それは無駄ではない。次の施設は、ライフサイクルコストの理念を取り入れるなどして、30～50年続くものになると考えられる。インフラには、莫大な費用がかかる。どんな所に行っても「No!」と言われない施設を造らなければならない。クリーンセンターは、「受け入れてもらう」ネガティブな施設ではなく、不安は完全に払拭できないにしても、市民のためになってきた大切な施設。焼却が問題になっているが、非焼却について考えていかなければならない。これは、夢のような話ではなく、今の環境問題に立ち向かっていかなければならない。場所以前に、どんな施設を必要とするのかを、行政も縦割りではなく色々な環境問題に立ち向かっていかなければならない。委員会は行政と協働している。しかし、市民委員会は市民に押し付けるようなことは決してしない。生ごみ処理などは分散もあり得る。

- 6月の答申では、整備用地がどこであるか確定するのか、「中間のまとめ」のような形で投げかけるのか。
- 委員会について知らなかった。市民参加と言っても10名の市民で「ごみ」という大きな問題にどう答申しようというのか。

いずれは決めるべき事を決めるべきだが、委員会は示唆するだけであり、決定を行うのは市長。

10人は少ないが、3万人に広げても仕方が無い。この問題に経験が豊富な運営協議会の委員にも入ってもらっている。

- 現クリーンセンターは敷地内東側を建て替え用地として建設したのではなかったか。自分自身は焼却場がある事は嫌ではない。
- 現在の場所で落ち着いている。無難で平穩。市役所北エリア全体を公園にするのはいかが

**なものか。市役所で洗車をするなどしているのに、市役所に面している敷地内東側に建設すべきだと思う。波風を立てないで欲しい。**

敷地内での建て替えについて、初代クリーンセンター所長が操業協定書に入れようとしたが、当時の周辺住民の感情を考え運営協議会が拒否したので、建て替え用地として約束はされていない。しかし、市側は将来の建て替え用地であると想定して都市計画決定を行っている。

他地域の人には、クリーンセンターの問題を話しても分かってもらえない。場所を「ここですよ」と決めてしまうとクリーンセンターの建て替えについて関心を持ってもらえない。自分のごみがクリーンセンターで燃やしているという事を、コミセン勉強会などでみんなで考えるよう促している。

- **今後 5,000 人の人口増が見込まれる中で、ごみ減量をベースに現行の 3 炉 195 t から 2 炉 120 t にすると言うが、3 炉を建設するという検討はしなかったのか。1 炉あたり 40 t だと焼却効果が落ちるとするのは、どのように研究したのか。現行の 2 ヶ月の休炉期間を無くした上で 1,000 で燃やし続けて大丈夫なのか。**

3 炉か 2 炉かは決まったものではない。現在の技術であれば 2 炉で回せるようになっているようだが、今回の委員会で全てを決めるわけではなく、大枠・方向性を決めた上で、次の委員会で詳細を検討し、さらにその次の委員会で詰めていくと予定。

予備炉には交付金が下りないので、全額武蔵野市の自費による建設になる。ごみバンクを大きくするなどすれば、メンテナンス時の対応は可能である。2 炉と 3 炉の比較については、「中間のまとめ」の資料編 P.80 に書いてある。しかし、全炉停止の時、今は武蔵野と三鷹とでごみの相互処理の協力をしているが、三鷹と調布が共同処理になるので、相互処理の協力をどのようにするのか不安はある。

- **「まちづくり」は周辺住民と市が行うべき。**

「まちづくり」は周辺に、というのはもっともな話。しかし、枠組みは武蔵野市全体で考えていくべき。以前は市民と行政がとても苦勞をして建設を行ったが、道一つとってみても、住みやすくなっていない。敷地内だけではなく、エリアとしての「まちづくり」を一体的に考えるべき。

- **かつて、「市営プール地」を建設用地とした時に嫌だったのは、押し付けがましかったから。**

今回「広報計画」と「施設研究」の小委員会を設けているが、「広報」は押し付けるものではなく、意見を吸い上げるもの。「施設」は具体的な絵を描くものではなく、どんなものが必要かを考えるものであり、ともに考えるためのもの。

- **非焼却などを含めた次世代の事を考えるのであれば、時間的に無理。広域化など、時間のかかる問題。**

- **素案に対して検討をしているのかと思っていたが、検討の仕方から始めたのだと分かった。しかし、この短い時間で場所の検討をするのは不可能。市や市民にごみ減量を求めつつ、国の行政はごみを増やすような動きをしている。平成 25 年に三鷹が焼却施設を造るので、あと 15 年もたせて三鷹の様子を見てから考えてはどうか。**

もっと時間が必要であると考え、10 年後には新施設が稼働している必要があると考え、一つ一つ決めていくべきことがある。広域化やエコセメントの問題など、先

の読めないものがある。非焼却も含めて時間のかかる問題であり、今回の建て替えについてだけでなく次世代に向けて、それらの問題を今から取り組むよう提言に入れていきたい。

- **今のままなら問題はない。公害が出ないようにしてきたのは良かった。ダイオキシンの問題は建設時からあったが、湿式だから大丈夫と言われていた。しかし、10年前にダイオキシン対策として大工事を行った。そこでそれだけお金をかけたのだから、さらに10年くらいもたせることは出来ないのか。もし延命できないのなら、周辺地域にその事をもっと丁寧に説明して欲しい。**

リフォームで出来るのではないかという意見があるが、中を見れば分かる。機械設備など、相当使い込んでいる。

見学は一人からでも可能なので、是非施設の現状を見て欲しい。

- **確かに大きな事故も無く、自分も「迷惑施設」だとは思っていない。「どこに造っても良い施設」を議論しているが、頭では現施設敷地内になっているのではないかと。市役所北エリアを一体的にという事になると、30~50年後にまた同じ問題が起こるのでは。他にもあるかも知れないというが、他の候補地の話は出ない。「まちづくり」は10人そこそこの委員にやって欲しくない。**

「場所をあそこ」と決まっているものに市民参加は使われたくない。民間のグラウンドで候補になると考えられるものがあるが、時価で86億円かかる。本当に他の場所を求めのなら、あらゆる犠牲を払っても他に場所を求めることを市に求める。「ここに決めた」という気持ちでやっている訳ではない。3.4haを、もう一度見直す。市役所北エリアを本当に良い形にしていく事を、周辺の人々にも考えて欲しい。

- **これまで平和に思ってきたのは、市はちゃんとやってくれるのだらうと思っている。運営協議会の役割も、市民の大体の人は知らない。小学校4年生の施設見学などで、市や運営協議会がこれだけやってきたという事を伝えていかなければならない。**
- **今日のような話をもっと頻繁に行って欲しい。色々な所に関心を持ってもらうのなら、移転するのが一番。**

## 【第6回・緑町コミュニティセンター】

日 時 : 平成21年4月23日(木)

19:00~21:25

参加者 : 一般 20名

委員 6名(橘委員・広江委員・早川委員・  
越智委員・石黒委員・村井委員)

## 【質問・意見】

- **用地の選定を6月までの1年弱で行うというのは、あまりに早すぎるのではないかと懸念。**  
現クリーンセンター建設時には、用地の選定を10ヶ月で行い、合意に半年くらいかかった。その後のまちづくり委員会は、建設工事と平行して3年くらいかけて行った。
- **全市民の問題としているのは良いのだが、具体的にどのように全市的な問題意識を広めていくのか。**  
他地域は無関心。だから各地のコミセンで勉強会を行っている。現委員会は第一陣であり、これから詳細を詰めていく。
- **身近な問題にならないと、自分のこととして考えない。クリーンセンターが近くに来ることとなって初めてごみの問題を考えるようになり、ごみの集団回収が始まり、減量の意識も高まり、それが次第に市民の間で広がっていった。これは、クリーンセンターができて良かった点なのだが、施設を一箇所に集中するのではなく、ストックヤードなどを分散してみてもどうか。**
- **まず現クリーンセンター敷地では建て替えを行わないという方向で始めて欲しい。全市民の間で温度差がある。5箇所くらい他の候補地を出すと、その周りの人が関心を持つ。そして、コスト・メリット・デメリットの検討をすると、委員会の考える全市的な取り組みになる。**  
元々は市の計画で、現クリーンセンター敷地内の継続使用が前提となっていた。しかし、それに捉われず施設の在り方を考えた。現クリーンセンターから離れた地域に住んでいる住民に話をしても、この問題に関心を持ってもらえなかった。だから、用地を確定せずに各地を廻っている。委員会に運営協議会から3名の委員が入っており、色々な話を聞いているが、それをみんなに知らせたい。提言では、市役所北エリアならこういう風にまちづくりをして欲しいと出し、一方で他の土地を利用するならこういう要件でという形になると考えられる。  
「整備用地の検討」が最初の検討項目として出されたが、用地を決定してしまうとそれ以外の人に関心を持たなくなってしまう。クリーンセンターに建て替え用地が確保されているとあったが、建て替え後10年程度経つとエコセメント工場が更新の時期を迎えることや、ごみ減量がどのように進むか、非焼却や分散の問題、これらを考えないと次に必要なクリーンセンターの大きさも分からなかった。今後焼却施設が小さくなれば、施設が空いたスペースに緑を配置するなどして、その地域をより豊かな環境にすることができる。そのようなことも検討されている。
- **整備用地について、基本的には現クリーンセンターのあるエリアで、それが駄目なら他の場所をと提言であるかと思われるが、こう提言したら市は他の場所について考えない**

のではないかと。これを反対にして、このエリア以外でどこがあるかを検討し、その結果どうかを市民とともに考えて欲しい。第二候補が無いなら無いではっきりと書いて欲しい。

- 何か変なことがあったという訳ではなく、30年間近くに住んでいるので、他の場所にして欲しい。井の頭公園の北側や北町三丁目に広い駐車場がある。検討する必要はある。

用地の選定について、委員会は決めることは出来ない。どのように市が選定を行うべきかのアドバイスや、候補となる場所がどこにあるかなどを出す程度。

将来は学校の統廃合などで空き地ができる可能性があるが、それは将来にならないと分からない。民間の土地だと、すでに利用している土地であり取り上げるわけにもいかないし、買収すると何十億円もかかる。

ごみ焼却施設ということでどうしても「迷惑施設」というイメージがあったと思われるが、喜ばれるとまでいなくても、どうしても必要な施設として地域に受け入れられる施設にしたい。

- 緑町一丁目など、現在運営協議会に含まれていない地域にもっと関わって欲しい。みんなが参加できるようにしてもらいたい。
- 環境健康診断の範囲は緑町二丁目、三丁目、吉祥寺北町五丁目であるが、都営住宅などが入っていない。地域ではなく、距離で考えてもいいのでは。
- 今回の勉強会はギリギリになって発表され、呼びかけが足りなかった。地域住民にもっと呼びかけるべきである。
- 具体的なまちづくりの例を出して欲しい。例えば、現クリーンセンター敷地内であるなら、緑町三丁目から市役所・グリーンパークの間は広く開いていて、買い物などがしやすい。ムーブスを取り入れることや、関東バスをNTTの裏門や団地の中を通るなどして八幡町の方まで通るルートにすることや、通研とタイアップしてタクシーの待車スペース及びタクシー乗り場を作ることなどが例として挙げられる。

健康診断の範囲やバス研修の範囲を広げるなどについて、ごみの問題は全市民の問題なので運営協議会の全市的な参加の方法が模索されることになっているので、今後に期待して欲しい。

まちづくりは幅が広い。土地が決まって初めてまちづくりになるのかと思っている。現クリーンセンターの場所で言えば、緑町三丁目と市役所側が分断されており、ムーブスなどを使ってまちをつなげていくことが考えられる。

現クリーンセンター建設当初は心配があったが、技術的に対応され、あまり公害がなかった。建設時の経緯で北側はスポーツ施設として残され、クリーンセンターの敷地は用地選定の時より小さくなったが、スポーツ施設はスポーツ事業団でといった縦割りではなく、これを一体的にしてまちづくりを考えて、住民にとって開放的なグラウンドにするなどしたい。

- 煙突が近くにあると不快。夜間に臭いがする。人体への影響が心配。どうして24年間「安全・安心」で、公害が無いと言えるのか。資料にある他の施設と比べると、武蔵野市の現状は悪い。明らかに人体への影響がある。他の地域と比べて循環器系の疾患が多いとか、ごみ収集車が多く通ることで交通事故が多いとか、不利益があるのではないかと。こういった不利益がないという何らかの検証はしたのか。

運営協議会 24 年間の中で、協定書により排ガス・排水等のデータを 2 ヶ月に一度チェックしている。生データはいつでも見られるが、まとめたものは年に 2 回「運協だより」で、市報で年に 4 回知らせている。ダイオキシンについては、年に 1 回市内 6 箇所を調査をしている。24 年前の基準値なので都内の最新のものと比べれば厳しくないが、それは建て替えの必要性の一つとして次にはさらに良いものを造る必要がある。健康面については 22 年前くらいからのデータがあり、個人情報なのでそれぞれは公開に出来ないが、循環器系の疾患などの発生についてはデータがある。

- **委員会として人体に影響は無いと思っているのか、微量と考えているのか。土壌ダイオキシンのデータについて、こうちゃん公園より市民公園の方が検出量が高いが、これは意味のあるデータだと思う。答申としては「ここありき」ではなく、5 箇所くらい出して欲しい。**

国の基準値や WHO（世界保健機構）の数字などを見て常に比較をしている。「絶対に」ということは言えるものではないが、今までに何かあったという話は聞いていない。

- **新しいクリーンセンターでは環境を重視するとあるが、排ガス中の CO2 について気になる。市報にも出てこないが、これから CO2 を削減するのであれば、現状を知り市民に知らせるべきではないか。また、プラスチック焼却が CO2 発生にどう影響しているか。排ガスの掲示板に CO2 の排出量も出して欲しい。**

「中間のまとめ」の P.40 に地球温暖化対策について書いてある。CO2 換算で削減した量、削減可能な量を出している。平成 17 年度からの対策で約 19%の CO2 発生量が削減されたが、これにはごみ減量も大きく影響している。しかし、これは電気量からの換算であり、煙突から出る CO2 は入っておらず、課題であると認識している。

- **若者や吉祥寺がごみ減量の課題と何十年も言っているが、この点をもっと重点的に研究し、対策して欲しい。どの商店街がどれくらいごみを出しているのか示されていない。自分の家は一日に 35g しか出していない。それで 700g と言われても分からない。3 ヶ月で検討することは難しいだろうが、市にそういう提言をして欲しい。**

資料編 P.71 に単身者への指導、資料編 P.75 に中小事業者への対策が書いてある。武蔵野市の特徴としては、1 / 3 が事業者から出るごみであるということが挙げられる。大規模事業者については、民間の資源化施設に持っていきよう働きかけており、かなり成果が出ている。中小事業者は、事業系のごみを家庭ごみとして出している可能性がある。この 4 月から巡回指導を始めたところである。5000 t の減量に向けて市も動き出している。

中小事業者は、3000 箇所くらいと考えていたら約 5000 箇所あった。飲食店など朝に行っても人がいないので、深夜に行かないとごみ出しの指導は出来ない。そのため午前 1 時～3 時あたりに市の職員と収集業者が巡回指導をこれから 3 ヶ月程度行う。また、ごみ減量協議会で、ごみ減量について検討しており、本年 8 月くらいには提言が出る。また、ごみ減量協議会の提案によりレジ袋削減会議が立ち上がっており、本年 9 月から 11 月には市内各店舗に入ってもらう形でレジ袋の有料化を検討している。

家庭の個別収集が始まって、随分ごみ減量が進歩したと思う。特効薬は無いので、地道に長い目で取り組むべきである。

### 【第7回・緑町パークタウン集会所】

日時：平成21年4月23日(木)

19:00～21:20

参加者：一般 9名

委員 6名(橋委員・広江委員・早川委員・  
越智委員・石黒委員・村井委員)



### 【質問・意見】

- **参加者が少ない。広報不足ではないか。行政が市民に、市民が行政に何を求めているのか。**  
運営協議会委員が検討委員会に参加しているため、安心しているとも考えられる  
3月15日に自主的に勉強会を行ったので、そのために少ないとも考えられる
- **ごみ減量を市民にお願いする以上、なぜ建て替えが必要で、新施設がどのような役割を果たすのかを伝えていかなければならないのでは**
- **なぜ、ごみ減量をしなければならないのか、理由が伝わっていないのではないか**
- **クリーンセンターがこの場所にあると知らない人がほとんど。名前は知っていても、騒音などが無いので「ごみ焼却施設」という意識は無い。自分たちに直接被害が無い限り、関心を持たないのが一般市民の感覚。また、ごみの問題について無関心であることが要因。広報をいくら頑張っても、そう効果のあるものではない**
- **団地としては、たくさん広報を行っていて、今回もかなり周知した。数打てば当たる的な広報ではなく、興味を持つ内容にしなければならない。「ごみ減量協議会」や「レジ袋削減会議」の活動をクリーンセンターの建て替えにつなげて、有機的に広報できないか**
- **ここではかなりまめに広報がされている。嫌がる人もいるが、結局そんなに迷惑ではなく、仮住まいの人も多いため、関心が薄いのかと感じた**
- **市の広報に頼るだけでなく、各町会の広報などに、目に付くように書くべきでは。**
- **ごみ減量協議会では、9月に「生ごみ」「紙」「容器包装」の3部会から、それぞれのごみの減らし方についてニュースとして出す。**

ごみを出すのは全市民であることから、関心を広めるために各地のコミセンを回っている。6月の委員会任期満了までに、16コミセン中8コミセンにて勉強会を行う  
違う地域での会合で話題を出してものってこないのが、溝を埋めるため努力している  
「クリーンむさしのを推進する会」の13の地域団体が行う地域集会で、事務局から話をすることになっている

30年前にクリーンセンターが出来るとなった時には大反対をしたが、色々な対策を行った結果、あまり嫌われる施設になっていない。「今まで悪くなかったから、このままでいいよ」と言っている人も多い中、不安を煽るようなことも出来ないという葛藤がある  
市報やHP、各戸配布の「むさしのごみニュース」などでクリーンセンターについても、ごみ減量についても広報を行っているが、なかなか見てもらえない人には見てもらえない。そこで、「クリーンむさしのを推進する会」や環境美化推進委員の協力を得ながら市民に対面で分別案内やごみ減量の呼びかけをする取り組みを行っている。

武蔵野市にはほとんどの地域で町内会組織は無いのだが、各コミセンでは独自の広報があり、各戸に配布している

集団回収の方で会報があり、そちらでごみの減量やクリーンセンター建て替えなどを（関前の）自分の地域では取り扱っている

緑町コミセンの今年の3大目標の一つには、「クリーンセンターの建て替え」が入っている

- 「チャレンジ700g」の700gは分かりづらい。それよりは、「今のごみをさらに減らそう」で良いのでは
- 武蔵野市は、もっと本腰を入れてごみ減量に取り組まなければならない。個人の努力で全て解決することはできず、啓発だけでは限度があり、損得などで経済誘導を行う仕組みが大事である

建て替えに際して、一人680gにする必要があり、周知を図っていく必要がある。多摩平均を取ってチャレンジ700gとしたが、今はすでに多摩平均は700gを切っている。

ごみを減らして、それでも出てしまうごみを燃やす施設を建てる予定

かつて処分場に持っていける量がこれくらい（約40g）であるという袋を配布したことがある。その時は、「なぜごみになるものを配るのか」というお叱りも受けたが、分かりやすい広報を心がけたい

「クリーンむさしのを推進する会」の補助金によりダンボール製の堆肥化装置を無料で配布している。去年の終わりからで、現在100人くらいに配布した。家庭に持って行き、利用方法の説明も行っている

- 6月末までの段階で用地の決定をすべきではない。周辺地域でさえ建て替えについて伝わっておらず、関心も持たれていない。ごみの分別や減量についても関心を持たせる動機付けが弱い。クリーンセンターが身近に来るとなれば関心は高まる。だから、用地は決定せずもっと検討を行うべき
- まちづくりは場所が決まったのこと。まちづくりにおいては、市民参加の在り方を見直して欲しい
- 現クリーンセンター敷地内で建て替えるのであろうと無かろうと、現施設は解体するのである。その際に通研との道路を広げ、歩道・自転車道を作り、道路を含めたまちづくりを周辺住民を含めた議論で行って欲しい。

### 【第8回・西部コミュニティセンター】

日時：平成21年5月21日（金）

18:30～20:30

参加者：一般 2名

委員 5名

（橋委員・広江委員・早川委員・越智委員・石黒委員）



#### 【質問・意見】

- 一般の人が、この「中間のまとめ」を見て、これだけの資料を理解できるのか。一般市民の関心を得られるようなものにするべき。

概要版によって簡潔に書いているが、文章はどうしても難しいものになってしまう。最終報告書は本文編をより簡潔で見やすいものにするべく作成中である。少しでも分かりやすい報告書となるよう努力したい。そして、そこから関心を持った部分の資料について深く理解できるよう資料編を作成中である。

- ごみは毎日出るもの。PRの仕方を工夫するべき。場所によって、どうやれば人が集まるか考えるべき。

今日集まらないのは、普段出席者の多い「クリーンむさしのを推進する会」の地域集会にて、今回の委員会の内容などを11ヶ所全てで報告することになっており、同じものを聞くことになるので足が遠のいている人が多いとも考えられる。

- 施設の規模について、機能を分散して異なる地域に分散配置を行うことで、ごみに対する興味を喚起できるのではないか。

生ごみ処理等について、将来に向けた分散配置を提言する予定である。

現クリーンセンター操業協定書には「操業停止」を求めることができるとなっている。クリーンセンターを壊れるまで使うよう延命を求める人もいるが、一週間程度のクリーンセンター停止の疑似体験をしてみてクリーンセンターの建て替えについてアピールするというのは、

（法律上の市の責任として、可能であるのにごみの収集を行わないことはできない）

周辺住民としてハード面での心配は無いのだが、これから30年60年引き受けるとするならば、それを遠方の人にも分かってほしい。分散配置などで負担をみんなで受けてもらいたい。

ごみ行政はサービスをし過ぎなので、みんな関心が無い。常にサービスを見直すべき。少し不満があるくらいの方が関心が出る。

## 【第9回・本宿コミュニティセンター】

日時：平成21年6月5日(金)

18:30～20:30

参加者：一般12名

委員5名

(橋委員・広江委員・早川委員・越智委員・石黒委員)



### 【質問・意見】

#### ■ 生ごみをバイオマス化するパイロット事業の具体的な方法はなにか。

具体的な方法はこれからとなるが、生ごみを拠点回収したものを堆肥化することが考えられる。

#### ■ 新クリーンセンターの機能は変わるのか。すべてのごみを集めて処理するのか。

新施設は10年内の計画であり、安全・安定稼働から現施設の焼却処理を継続していく。びん、缶・ペットボトル・古紙・古着などのリサイクルは、市外の民間処理施設で、蛍光管・電池は北海道の民間処理施設で行っており、灰も日の出町にお世話になっている。武蔵野市だけでは完結していない。

#### ■ 運営協議会について、何がよかったのか。どんな風に乗りに越えたか。

最初から行政とパートナーシップを組んできたわけではない。いろいろな問題乗り越えてきた。私たちが監視役を務めることで、市内の安全が保たれる。

建設時には、事前、事後のアセスをやって、安全を確かめている。

#### ■ 新施設は高機能な能力にするのか。新施設になった場合、いざというときに備えて保存してはどうか。

24年前とごみが減っている。また、平成29年度までに年間5,000t減らすことになり、現施設が1日195tの能力に対し、新施設は120tになる。逆に、24年前より燃えやすいごみになっており、この部分は能力をアップする必要がある。

一度炉を止めてしまうと、腐食などで炉が痛み、使えなくなる。新施設稼働後、現施設は解体・撤去することになる。

#### ■ この頃、帰属意識がない。ごみを減らす意識がなく、特に新しい住民はそうである。

ごみを減らすのは難しい。どんなごみでも安全に燃やせる施設を造るのはどうか。生ごみの分別・収集はみんなしないだろう。

#### ■ ごみについて、もっとPRすべき。特に若い人に興味を持ってもらうように、市でもっと取り組んでもらいたい。クリーンむさしのを推進する会も高齢化している。

#### ■ 本宿小でも落ち葉を堆肥化している。休み時間に切り返しをやって、子どもたちの興味を引くようにしている。

#### ■ 環境展で、よい技術がたくさんあり、ディズニーランドの生ごみも資源化されている。

#### ■ 道路問題は重要。100台以上の収集車が集中した時間帯に通ると渋滞する。だから、交通量から敷地の考え方は大事である。